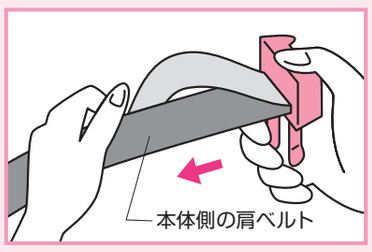
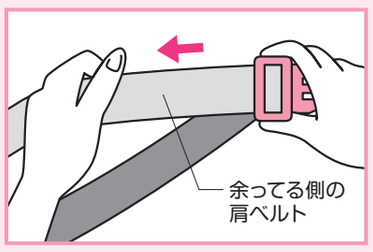
肩ベルトの調節のしかた

長くする場合



肩ベルトのバックルを立てるように持ち、本体側の肩ベルトをそのまま矢印の方向にひっぱります。

短くする場合



肩ベルトのバックルを持ち、余っている側の肩ベルトをそのまま矢印の方向にひっぱります。

洗濯についてのご注意

- 洗濯については製品に縫い付けの組成表示ラベルをご参照ください。
- 色落ちする場合がありますので、他の洗濯物とは別けて洗ってください。
- 洗濯ネットに入れて洗ってください。
  バックルが付いてる製品は、バックルを留めてネットに入れてください。
- 軽い汚れの場合は、湿らせた布で汚れた部分をたたくようにして落としてください。
- 蛍光漂白剤入りの洗剤は使用しないでください。
- 脱水機、乾燥機の使用はしないでください。樹脂部品が破損するおそれがあります。
- アイロンはあて布を使用してください。

点検について

- ご使用前に、バックルなどの樹脂部品が破損したり、ベルトや生地などに破れ、ほつれ、傷がないことを確認してください。
  異常がある状態で使用すると、事故につながるおそれがあります。

※安全基準等により、仕様が予告なしに変わることがあります。

製品には万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら下記までご連絡ください。

LUCKY ラッキー工業株式会社

〒503-2423 岐阜県揖斐郡池田町青柳83-8 TEL：0585-45-7425
SG登録工場 第31-001号
ホームページアドレス http://www.lucky-baby.co.jp

TL00032
NP17-02

SGマーク制度について

SGマークは、製品安全協会が定めるSG基準に適合するものとして認証された製品に表示される安全・安心マークです。SGマーク付きの製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、製品安全協会が事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施する制度です。抱っこひもの場合は、お買い上げ日より３年以内が有効期間となります。

製品安全協会
東京都台東区竜泉2-20-2
ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL 03-5808-3300

●賠償についてのご注意

SGマーク付き製品そのものが故障したとしても、その品質について保証するものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害（人的損害）について賠償する制度です。

●製品の欠陥により事故が起きた場合

事故が起きたら、すぐに製品安全協会へ連絡してください。
（原則として事故発生日から60日以内に連絡してください。）

●事故の届出に必要な項目

①事故の原因となったSGマーク表示の製品
・製品の名前、ロット番号　・購入先、購入年月日
②事故発生の状況
・事故発生年月日　・事故発生場所
・事故発生状況
③被害の状況
・被害者の氏名、年齢、性別、住所　・被害の状況

seven style セブンスタイル

取扱説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用になる前に、よくお読みのうえ正しくお使いください。
また、取扱説明書は必ず保管してください。
本製品を他のお客さまにお譲りになるときには、必ず取扱説明書もあわせてお渡しください。

材料・部材は充分に選別しておりますが、主なる素材が繊維であるため、使用頻度にもよりますがお使い始めてから約3年を耐用年数とお考えください。

使用できるお子さまの月齢

※お子さまの発育により、同じ月齢でも体格や体重には個人差があります。
※使用者の対応ウエストサイズ 58cm～98cm（体型によって装着できない場合もあります。）

よこ抱っこ ※しっかりサポート使用	生後10日（かつ体重3.2kg以上）～首がすわる乳児期（4ヵ月頃）まで
対面しっかり抱っこ しっかりおんぶ ※しっかりサポート使用	首がすわった乳児期（4ヵ月頃）～18ヵ月（体重12kg）まで
対面抱っこ おんぶ ※しっかりサポート未使用	首がすわった乳児期（4ヵ月頃）～24ヵ月（体重13kg）まで
前向きしっかり抱っこ ※しっかりサポート使用	腰がすわってから（7ヵ月頃）～18ヵ月（体重12kg）まで
前向き抱っこ ※しっかりサポート未使用	腰がすわってから（7ヵ月頃）～24ヵ月（体重13kg）まで

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために、使用前に必ず取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

●お子さまが開口部から落下するおそれがあります。体を傾ける際には、お子さまが落下しないよう手で支えてください。また、頭が下向きにならないよう腰を曲げるのではなく、膝を曲げるようにしてください。

●正しく調整し、バックルなどの固定箇所を確実に締めてください。お子さまが落下するおそれがあります。

●使用中に大きく前かがみしないでください。お子さまが滑り落ちる可能性があります。

●よこ抱っこ時は、お子さまを必ず手で支えて使用してください。ハンモック状態のため、側方傾斜時にお子さまの頭が下になったり、前傾時に使用者の体から離れた状態になります。
●よこ抱っこ時（首のすわらない乳児）の使用時には、必ずセーフティボード角度を使用してください。

●生後4ヵ月未満の乳児は保護者の体に顔を強く押し当てられると窒息するおそれがあります。
●乳幼児を保護者の体に強く縛り付けずに、頭部を動かす余裕があるように装着してください。
●お子さまの気道をふさぐことがないなど、状態に注意しながら使用してください。

●早産児及び呼吸器疾患等のあるお子さまへは使用しないでください。ご使用については医師に相談してください。

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容を示します。

●着脱時は、可能な限り低い姿勢や安全な場所で行うようにしてください。他の人に介添えいただくとより安全です。

●おんぶ時は、目が届きにくくなりますので、特に注意してください。

●お子さまがそり返ったり、動いて安定しない場合は使用しないでください。

●使用前にバックル等の固定部が確実にとめられていることを確認してください。特に背中のバックルについては、バックルがとまっているか、必ず確認してください。
●装着後も緩みがないかを確認してください。

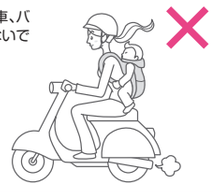
●使用前には、やぶれ、ほつれ、傷、バックルなどが破損していないか確認してください。また、破損している場合は使用しないでください。

●抱っこ時は、お子さまの頭で前方、特に足元の視界が妨げられないよう装着し、歩行時も注意してください。

●バックルの開口部またはすき間にお子さまの手指を入れないように注意してください。すき間に指が入って抜けなくなったり、傷害の危険性があります。未使用時もバックルが開口していないよう、はめ込んでおくようにしてください。

●授乳後30分間位はおなかを圧迫することがあり、消化吸収を助けるために、使用しないでください。
●連続して使用する時は、体調の変化や装着状況を確認する必要があるため、2時間以下の使用にしてください。
●体調がすぐれない時や、体に痛みを感じる時は、使用しないでください。

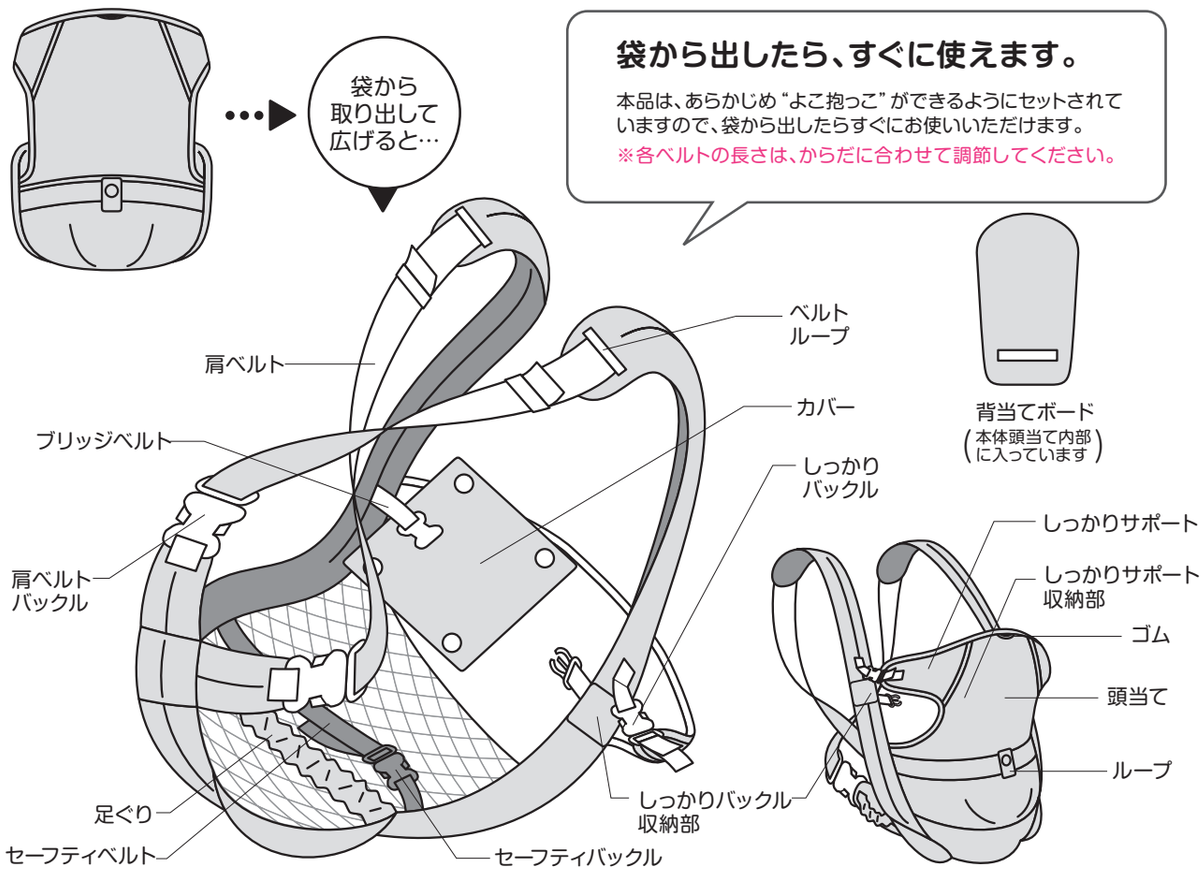
●飛行機、車、自転車、バイクでは使用しないでください。



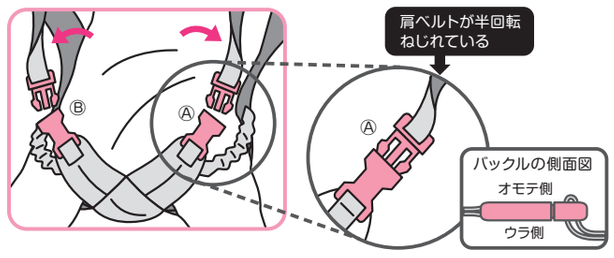
●料理、家事の時は、おんぶで使用してください。火気に注意し、使用中に大きく前かがみしないでください。また、思わぬ事故につながるおそれがあるため、抱っこでの使用はしないでください。

●汗や水で湿った状態で強い摩擦をうけると、他に移染するおそれがあります。

●直射日光のあたる場所に保管しないでください。また車内など高温になりやすい場所での保管はしないでください。（劣化や変色することがあります）



肩ベルトバックルのとめかた



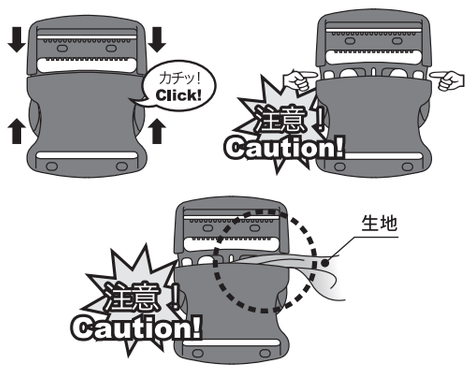
右の肩ベルトバックルⒶを右に半回転ねじらせ、左の肩ベルトバックルⒷも左に半回転ねじってください。肩ベルトバックルはカチッと音がするまで差し込んで、とめてください。
※肩ベルトをあえてねじらせるのは、装着時に使用者の体にそわせるためです。

バックルの使用上の注意

■ バックルを使用する際は、必ずカチッと音がする最後まで差し込んだことを確認してください。

■ 正しく組まれない状態で使用しますと、使用中バックルが外れ、お子さまの落下事故につながるおそれがありあます。

■ バックルを差し込んだ際に、生地等異物を挟んでいないことを確認してください。



【よこ抱っこ】※しっかりサポートを使用します。

●よこ抱っこは左抱き・右抱きのどちらでもお使いいただけます。
説明図は左抱き（お子さまの頭が使用者の左胸にくる抱きかた）の場合です。

※背当てボードを入れて使用します。

生後10日（かつ体重3.2kg）～首がすわる乳児期（4ヵ月頃）まで

1 しっかりサポートを左右それぞれのバックルでとめます。バックルはカチッと音がするまで差し込んでとめてください。

2 肩ベルトをクロスさせ肩ベルトバックルをとめます。バックルはカチッと音がするまで差し込んでとめてください。
※「肩ベルトバックルのとめかた」をお読みください。

3 お子さまをのせる前に左右の肩ベルトをななめ掛けにして、ベルトの長さを確認します。
お子さまの頭が使用者の胸に、お子さまのおしりが使用者のウエストの位置にくるように調節してください。
※「肩ベルトの調節のしかた」をお読みください。

4 お子さまを寝かせて、足をそれぞれ左右の足ぐりに通します。お子さまの頭が、頭当てからはみ出ないようにしてください。
安全な場所で行ってください。

5 肩ベルトとしっかりサポートの間にお子さまの腕を通します。

6 セーフティベルトの長さを調節してバックルでとめます。
バックルはカチッと音がするまで差し込んでとめてください。
強くしめすぎないように注意してください。

7 ブリッジベルトをバックルでとめカバーします。
バックルはカチッと音がするまで差し込んでとめてください。

8 使用者の頭と腕をくぐらせます。安全のために、必ず本体を置いた状態で肩に掛けてください。

9 使用者の体を起こします。お子さまを必ず手で支えてください。
抱っこ時は、足元が見えにくくなりますので歩行時には注意してください。

よこ抱っこの ご使用方法動画
youtube で公開中

はずしかた 装着するときの手順を逆にして行います。
※お子さまを降ろす時は、安全な場所でおこなってください。他の人に手伝ってもらうとより安全です。

【前向きしっかり抱っこ】※しっかりサポートを使用します。

※背当てボードは使用しません。

腰がすわってから（7ヵ月頃）～18ヵ月（体重12kg）まで

1 しっかりバックルをはずします。

2 頭当て内部の背当てボードを抜き取ります。

3 肩ベルトをクロスさせ肩ベルトバックルにとめます。バックルはカチッと音がするまで差し込んでとめてください。
※「肩ベルトの調節のしかた」「肩ベルトバックルのとめかた」をお読みください。

4 左右の肩ベルトに頭と腕を通し、肩ベルトが背中でクロスするようにします。

5 どちらか一方の肩ベルトを肩からおろします。

6 お子さまを抱きあげ、足を左右の足ぐりに通します。おろしておいた肩ベルトを肩にかけます。
肩ベルトがお子さまの脇の下にくるようにし、お子さまの腕を出してください。

7 セーフティベルトの長さを調節してバックルでとめます。バックルはカチッと音がするまで差し込んでとめてください。
強くしめすぎないように注意してください。

8 ブリッジベルトをバックルでとめカバーします。バックルはカチッと音がするまで差し込んでとめてください。

9 ゴムをループに通してホックでとめます。しっかりサポートは、お子さまの肩の上にくるようにしてください。

10 しっかりサポートをバックルでとめます。バックルはカチッと音がするまで差し込んでとめてください。

11 肩ベルトを調節します。
抱っこ時は、使用者の視界を妨げられたり、足元が見にくくなりますので歩行時には注意してください。
※子守帯がお子さまの口にかかってしまう場合は、お尻の下にタオルを敷くなどしてお子さまのお尻の高さを調節してください。

腰がすわってから（7ヵ月頃）～24ヵ月（体重13kg）まで

1～8 【前向きしっかり抱っこ】に同じ。

9 頭当てを深く折りお子さまの腕をしっかりサポートの上から出してください。

10 11 【前向きしっかり抱っこ】に同じ。

前向きしっかり抱っこ 前向き抱っこの ご使用方法動画
youtube で公開中

はずしかた 装着するときの手順を逆にして行います。
※お子さまを降ろす時は、安全な場所でおこなってください。他の人に手伝ってもらうとより安全です。

【対面しっかり抱っこ】※しっかりサポートを使用します。

※背当てボードを入れて使用します。

首がすわった乳児期（4ヵ月頃）～18ヵ月（体重12kg）まで

1 しっかりバックルをはずします。

2 肩ベルトの長さを長めにしておき、左右の肩ベルトをクロスさせ肩ベルトバックルにとめます。バックルはカチッと音がするまで差し込んでとめてください。
※「肩ベルトの調節のしかた」「肩ベルトバックルのとめかた」をお読みください。

3 左右の肩ベルトに頭と腕を通し、肩ベルトが背中でクロスするようにします。

4 どちらか一方の肩ベルトを肩からおろします。

5 お子さまを抱きあげ、お子さまの足を左右の足ぐりに通します。おろしておいた肩ベルトを肩にかけます。この時、肩ベルトがお子さまの脇の下にくるようにし、お子さまの腕を出してください。

6 セーフティベルトの長さを調節してバックルでとめます。バックルはカチッと音がするまで差し込んでとめてください。
強くしめすぎないように注意してください。

7 ブリッジベルトをバックルでとめ、カバーします。バックルはカチッと音がするまで差し込んでとめてください。

8 肩ベルトを調節します。

9 しっかりバックルをとめ、ベルトの長さを調節します。バックルはカチッと音がするまで差し込んでとめてください。

10 抱っこ時は、使用者の視界を妨げられたり、足元が見にくくなりますので歩行時には注意してください。

首がすわった乳児期（4ヵ月頃）～24ヵ月（体重13kg）まで

1～8 【対面しっかり抱っこ】に同じ。

9 図のようにしっかりサポートとしっかりバックルを収納します。

10 【対面しっかり抱っこ】に同じ。

対面しっかり抱っこ 対面抱っこの ご使用方法動画
youtube で公開中

はずしかた 装着するときの手順を逆にして行います。
※お子さまを降ろす時は、安全な場所でおこなってください。他の人に手伝ってもらうとより安全です。

【しっかりおんぶ】※しっかりサポートを使用します。

※背当てボードを入れて使用します。

首がすわった乳児期（4ヵ月頃）～18ヵ月（体重12kg）まで

1 しっかりサポートをバックルでとめます。バックルはカチッと音がするまで差し込んでとめてください。

2 お子さまを寝かせ、足を左右の足ぐりに通します。安全な場所で行ってください。

3 肩ベルトとしっかりサポートの間にお子さまの腕を通します。

4 セーフティベルトの長さを調節してバックルでとめます。バックルはカチッと音がするまで差し込んでとめてください。強くしめすぎないように注意してください。

5 ブリッジベルトをバックルでとめカバーします。バックルはカチッと音がするまで差し込んでとめてください。

6 肩ベルトバックルをとめます。バックルはカチッと音がするまで差し込んでとめてください。この時、肩ベルトは、クロスさせません。※「肩ベルトバックルのとめかた」をお読みください。

7 使用者は低い姿勢になり、左右の肩ベルトに腕を通します。

8 お子さまと使用者が密着するように、肩ベルトの長さを調節します。
調節後余ったベルトは折りたたんでベルトループでとめます。

首がすわった乳児期（4ヵ月頃）～24ヵ月（体重13kg）まで

1 図のようにしっかりサポートとしっかりバックルを収納しておきます。

2～8 【しっかりおんぶ】に同じ。

しっかりおんぶ おんぶの ご使用方法動画
youtube で公開中

はずしかた 装着するときの手順を逆にして行います。
※お子さまを降ろす時は、安全な場所でおこなってください。他の人に手伝ってもらうとより安全です。